

秋田県市町村職員共済組合

ライフプランセミナーで感じる
職員の関心の高まり

秋田県市町村職員共済組合事務局長 鈴木 勝仁

秋田県市町村職員共済組合では、秋田県内における地方公共団体の職員と被扶養者に対し、平成24年度から毎年ライフプランセミナーを実施しており、今年度は対象年齢を「50歳以上」と「50歳未満」に分けて開催しています。

「50歳以上」のライフプランセミナー

「50歳以上」の地方公共団体の職員と被扶養者を対象として開催しています。

50歳以上の職員の場合、年金支給開始年齢の引き上げや定年引き上げ等により、職場環境、生活環境が変化し、働き方が大きく変わることが想定されます。

60歳以降のライフプランの立て方については、働き方に加えて、年金、貯蓄、資産運用など、ご自身とご家族の経済設計をどのようにするのか？ これからの生きがいなども含めてライフプランをどのようにするのか？ といったことに関心が集まります。50歳以上は特にライフプランへの関心が高いため、広く県内3ヶ所に分けてライフプランセミナーを開催しています。

「50歳未満」のライフプランセミナー

「50歳未満」の地方公共団体の職員と被扶養者を対象として開催しています。

地方公共団体の職員を取り巻く環境は年々厳しさを増し、社会保障に関わる保険料も増えていく中で、特に40歳代の職員の場合は、子育てにかかる費用や教育費、住宅ローンの支払いなどに追われています。資産をつくる余裕がない世帯が多く、資産形成が停滞してしまいがちな40歳代という時期に着目し、家計を見直すポイントに

ついてライフプランセミナーを行っています。

参加した方の反応

特に50歳未満の方については、資産運用への関心が高く、「iDeCoやNISAを活用し、今後の生活設計を立てるうえで役立てたい」という声が多く寄せられています。また、ライフプランセミナーで話される内容の幅が広いため、「それぞれの内容について、もう少し詳細な内容が欲しい」という意見もありました。その他、「改めて、今後の生活環境を考え、ライフプラン計画表を綿密に作りたい」という方もいて、若い世代においてもライフプランへの関心が高い印象を受けています。

今後の課題について

近年においては、年金支給開始年齢の引き上げに伴い再任用制度が定着し、さらには定年の引き上げ等、地方公共団体の職員の働き方に影響を及ぼす各種改正がなされています。そのような中、60歳を迎えた後、年金を受け取るまでの期間をどのような形で過ごすのかに、多くの注目が集まるようになってきているところです。

引き続き勤務する場合は、どのような形態で勤務するのか？ 年金の受け取り方はどのような形にするのか？ 生活が多様化する中、一人一人が自分に合ったライフプランを立てるにあたり当事業が担う役割は年々高まっているといえます。

当組合があわせて行っている「退職予定者説明会」と足並みをそろえる形で、組合員から求められている内容を吸い上げ、さらに充実した事業を展開していきたいと考えております。